

宝の都(くに)・おおさき 未来予想図

～ずっとおおさき・いつかはおおさき～

vol.11

道の駅おおさき 7月5日11時に待望のオープン

世界農業遺産推進課企画調整担当 ☎23-2281

「まちの元気創造」「シティープロモーション」「安全・安心」をコンセプトに整備を進めていた「道の駅おおさき」が、7月5日(金)午前11時、いよいよオープンします。

道の駅おおさきでは、24時間利用可能なトイレや世界農業遺産「大崎耕土」の情報発信・休憩コーナー、大崎耕土がはぐくむ米や野菜などの農産物、酒やみそなどの加工品の販売コーナー、『ささ結』

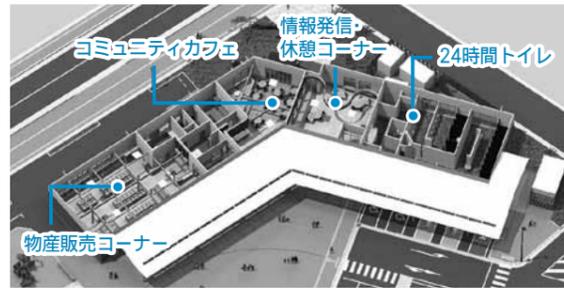


▲施設前の屋外広場は、古川八百屋市など、「市」をテーマに交流促進にも活用されます

などの地元食材を使用したメニューを提供するコミュニティカフェなどがあります。

市では、中心市街地に整備した道の駅を基点として、まちなか回遊や市内各地域に広がる世界農業遺産フィールドミュージアムへの誘導を進め、地域の活性化につなげていきます。

施設内容など詳しくは、広報おおさき7月号でお知らせします。



▲大崎市産木材を使用した、ぬくもりの感じられる建物になりました

5月1日現在の大崎市の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	37,971	+ 55	39,393	- 21	77,364	+ 34	31,544
松山	2,881	- 9	3,060	- 7	5,941	- 16	2,189
三本木	3,866	- 6	3,910	- 3	7,776	- 9	2,694
鹿島台	5,711	+ 6	6,090	+ 6	11,801	+ 12	4,543
岩出山	5,172	- 15	5,394	- 24	10,566	- 39	4,157
鳴子温泉	2,825	- 7	3,092	- 18	5,917	- 25	2,682
田尻	5,279	- 29	5,419	- 23	10,698	- 52	3,600
市全体	63,705	- 5	66,358	- 90	130,063	- 95	51,409

市政情報課統計担当 ☎23-5091

交通死亡事故件数

(5月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	0件	- 2
死亡者数	0人	- 2

火災発生件数

(4月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	7件	- 2
林野火災	3件	+ 2
車両火災	4件	+ 2
その他火災	3件	0
合計	17件	+ 2

空間放射線量の測定結果

(単位:マイクロシーベルト/h)

5月17日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.04	0.05
松山総合支所	0.04	0.03
三本木総合支所	0.03	0.03
鹿島台総合支所	0.05	0.05
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.05	0.05

防災安全課 消防担当・交通防犯担当 ☎23-5144

今月の納税

納期限:7月1日(月)

※市から送付する納付書や口座振替を利用している人の納期限です。口座振替を利用している人は、記帳にて残高と振替結果を確認してください。

納税課収納担当 ☎23-5148

<input type="checkbox"/> 軽自動車税	-
<input type="checkbox"/> 固定資産税・都市計画税	-
<input checked="" type="checkbox"/> 市県民税	第1期
<input type="checkbox"/> 国民健康保険税	-
<input type="checkbox"/> 介護保険料	-
<input type="checkbox"/> 後期高齢者医療保険料	-
<input type="checkbox"/> 個人事業税	-

6月号の主な内容

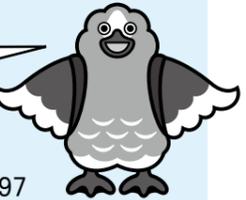
- 4 災害から命を守る
- 6 SAKIGAKE VOL.1 「川渡マルシェ」
- 8 市政トピックス 5月の主な出来事
- 9 地域発!お・ら・ほ・の・ま・ち
- 10 オオサキプレイガイド
- 12 今月のお知らせ 市職員を募集します ほか
- 26 子育て支援情報
- 27 育児相談・乳幼児健診
- 28 休日当番医 ほか

ピタ崎さんの 観光ひとくちメモ

その35

おおさき観光 写真コンテスト

観光交流課 ☎23-7097



今回で10回目となる「おおさき観光写真コンテスト」が今年も受け付けを開始したよ。これまでのすばらしい作品を振り返ると、大崎市の美しさを再発見できるんだ。市のウェブサイトに掲載しているから、撮影場所を訪れてみるものいいかもね。

大崎市には、海はないけれど、世界農業遺産に認定された「大崎耕土」があるし、おすすめ撮影ポイントがたくさんあるよ。市内で撮影された作品なら、風景だけでなく、イベントや食べ物、僕たちのようなマガンでもOKなので、気軽に応募してみてね。

今回は、印刷した作品だけでなく、写真データをEメール(osaki-shashin@yahoo.co.jp)で応募することもできるよ。スマートフォンで撮影した作品にも期待しているよ。

応募期間は、令和2年2月10日(月)までだよ。たくさん応募を待っているね!

今月の表紙

市指定の無形民俗文化財「保柳神楽」。5月18日、西古川小学校の運動会で全校児童85人が披露しました。

保柳神楽は、約450年前から保柳地区に伝わるとされ、躍動的な舞と軽快な十六拍子の太鼓、カネのハヤシが印象的です。保柳地区にある熊野神社付属の神楽として、大切に守り継がれています。

西古川小学校では、ふるさと教育の一環として地域に伝わる神楽を学び継承するため、運動会や学芸会での演目に取り入れています。この日は天候にも恵まれて絶好の運動会日和となり、児童たちは家族や地域の人に向けて、堂々と舞を披露していました。



市長コラム

天地人

青春回帰の旅

御代替わり、改元という歴史的な場面に感銘を覚えながら、新しい時代を歩み始めております。

市民皆さまも国民的慶事を祝福しながら、大型連休を有意義に過ごされたことでしょう。

私は、青春時代を共に過ごした仲間たちと、旧知の友人を訪ねながら、北東北を小旅行してまいりました。誰にも大切な友人や仲間がおられるでしょうが、私には、生涯を貫く友情で結ばれた、戦友ともいえる大切な仲間がいます。

私が、家業の米作りを始めた頃、天地がひっくり返るような出来事がありました。減反政策という米政策の大転換と、みちのく(道の奥の国)ともいわれた東北に、自動車道路や、新幹線が開通する高速時代が到来したのです。

時代や地域がどう変わるのか。期待と不安が私たちを青年活動に走らせたのでした。

当時の流行歌「青春時代」などの青春賛歌や、高村光太郎の詩「私は青年が好きだ」にも鼓舞されながら、地域民の意識調査活動や学習会、先進地調査や提言のための青年議会などに昼夜を分かたず熱中しました。やがては活動拠点の青年会館建設運動や、国際交流活動へと活動が広がり、当時の知事が提唱する「新しいふるさとづくり」運動に心酔し、政治の世界に飛び込んだのでした。

アメリカの詩人サミュエル・ウルマンは「青春とは、人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ」と説かれています。

今回の小旅行で、あらためて「青春回帰」「青雲の志」を認識する時間をいただきました。



大崎市長 山本 健志